

BROADBAND GATE

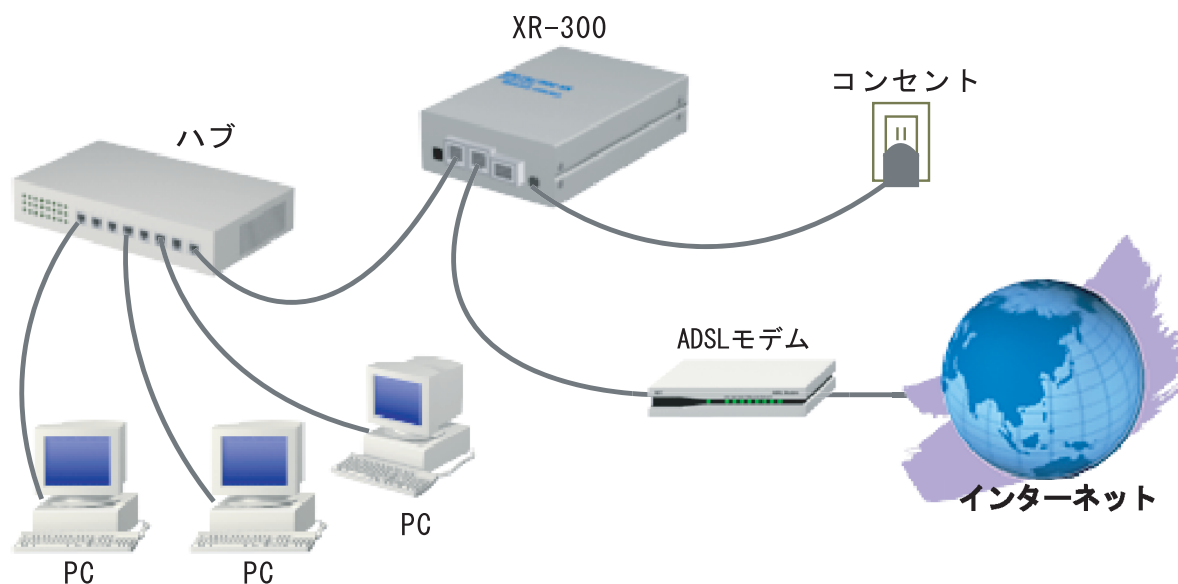
Linux エンジン搭載ブロードバンドルータ

FutureNet XR-300

Yahoo!BB 接続ガイド

STEP0: ハードウェアの接続

XR-300 と ADSL モデムやコンピューターは、以下の手順で接続してください。



- 1** 本装置と ADSL モデムやパソコン・HUB など、接続する全ての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。
- 2** 本装置の背面にある Ether0 ポートとハブを、ストレートタイプの LAN ケーブルで接続してください。
- 3** 本装置の背面にある Ether1 (もしくは Ether1 ~ 3 のいずれか) ポートとケーブルモデムや、別セグメントの HUB 等を LAN ケーブルで接続してください。接続に使うケーブルの種類は、各機器の説明書等をご覧ください。
- 4** 本装置と AC アダプタを接続して下さい。(この状態では、AC アダプタをコンセントにささないで置いてください)
- 5** 全ての接続が完了しましたら、本装置と各機器の電源を投入してください。

STEP1: 設定画面へのログイン

1 各種ブラウザを開きます。

2 ブラウザから設定画面にアクセスします。
ブラウザのアドレス欄に、以下の IP アドレスと
ポート番号を入力してください。

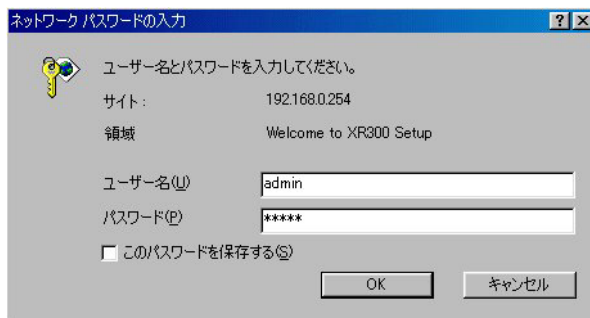
`http://192.168.0.254:880/`

「192.168.0.254」は、Ether0 ポートの工場出荷時の
アドレスです。アドレスを変更した場合は、そ
のアドレスを指定してください。**設定画面のポ
ート番号 880 は変更することができません。**

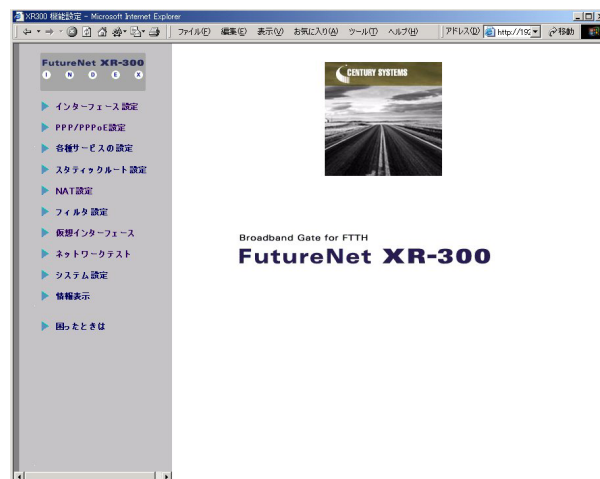
3 次のような認証ダイアログが表示されます。



4 ダイアログ画面にパスワードを入力します。
工場出荷設定のユーザー名とパスワードはともに
「admin」です。ユーザー名・パスワードを変更し
ている場合は、それに合わせてユーザー名・パス
ワードを入力します。



5 ブラウザ設定画面が表示されます。



【ご注意ください！】

工場出荷時の設定では Ether0 ポート以外のイ
ンターフェースではすべてステートフルパケット
インスペクション機能が有効になっているた
め、Ether0 ポート以外のインターフェースから
は設定画面にアクセスできないようになってい
ます。

Ether0 ポート以外のインターフェースから設定
できるようにするには、それぞれのインター
フェースでパケットフィルタ設定が必要です。
詳細はユーザーズマニュアルをご覧ください。

STEP2: インターフェース設定

1 コンピューターの IP アドレスは適宜設定しておきます。

2 XR-300 の設定画面にログインし、「インターフェース設定」をクリックします。

3 「Ethernet ポートの設定」をクリックします。

Ether0 ポート (LAN 側) の設定

- ・「固定アドレスで使用」と「DHCP から取得」
「固定アドレスで使用」を選択します。
- ・「IP アドレス」
XR-300 の LAN 側 IP アドレスを設定します。
<入力例> 「192.168.0.254」
- ・「ネットマスク」
サブネットマスクを入力します。
<入力例> 「255.255.255.0」
- ・「IP マスカレード」
チェックを入れません。
- ・「ステートフルパケットインスペクション」
チェックを入れません。
- ・「ポートの通信モード」
「自動」にチェック。

Ether1 ポート (WAN 側) の設定

- ・「DHCP から取得」と「固定アドレスで取得」
「DHCP から取得」を選択します。
- ・「ホスト名」
通常は設定しませんが、プロバイダの指定があるときは、それに従って設定します。
<入力例> 「century」
- ・「MAC アドレス」
設定しません。
- ・「IP マスカレード」
チェックを入れます。
- ・「ステートフルパケットインスペクション」
安全のためにチェックしてください。

ステートフルパケットインスペクション機能を使わない場合は、お客様のセキュリティ要件に応じてパケットフィルタの設定を行うようにしてください。
- ・「ポートの通信モード」
「自動」にチェック。

デフォルトルート
入力しません。

4 最後に「設定の保存」ボタンをクリックし、設定を保存します。

STEP3: DHCP サーバ機能の設定

、XR-300 が搭載している「DHCP サーバ機能」を使うことで、コンピューターへの IP アドレス登録を自動的におこなうようにしてインターネットにアクセスできるようにします。

ここで記載する設定内容は、Ether0 ポートの IP アドレスが工場出荷値の「192.168.0.254(24 ビットマスク)」であると仮定したときのもので、Ether0 ポートの IP アドレスを変更している場合は適宜、設定内容を読みかえてください。

1 Web 設定画面にログインします。

2 「各種サービスの設定」 「DHCP(Relay)サーバ」画面上部「DHCP サーバの設定」をクリックします。

サーバの選択

サーバの選択	<input checked="" type="radio"/> DHCPサーバを使用する	<input type="radio"/> DHCPリレーを使用する
--------	---	------------------------------------

「DHCP サーバを使用する」を選択します。

DHCP サーバの設定

<input checked="" type="checkbox"/> サブネット1	サブネットワーク	<input type="text" value="192.168.0.0"/>
	サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
	ブロードキャスト	<input type="text" value="192.168.0.255"/>
	リース開始アドレス	<input type="text" value="192.168.0.10"/>
	リース終了アドレス	<input type="text" value="192.168.0.100"/>
	ルータアドレス	<input type="text" value="192.168.0.254"/>
	ドメイン名	<input type="text" value="localdomain.co.jp"/>
	プライマリDNS	<input type="text" value="192.168.0.254"/>
	セカンダリDNS	<input type="text"/>
	標準リース時間(秒)	<input type="text" value="600"/>
	最大リース時間(秒)	<input type="text" value="7200"/>

・サブネット

「サブネット1」にチェックを入れます。

・サブネットワーク

「192.168.0.0」を入力します。

・サブネットマスク

この例では「255.255.255.0」を入力します。

・ブロードキャスト

この例では「192.168.0.255」を入力します。

・リース開始アドレス / 終了アドレス

DHCP クライアントに割り当てる最初と最後の IP アドレスを指定します(割り当て範囲となります)。「192.168.0.1」から 30 個の IP アドレスを自動割り当てとしたい場合、

リース開始アドレスに「192.168.0.1」

リース終了アドレスに「192.168.0.30」

と入力します。

・ルータアドレス

通常は XR-300 のインタフェースの IP アドレスを指定しますので、「192.168.0.254」を入力します。

・ドメイン名

DHCP クライアントに割り当てるドメイン名を入力します。必要であれば指定してください。

・プライマリ DNS

XR-300 は DNS リレー機能を搭載していますので、通常は XR-300 の IP アドレスを指定します。この例では「192.168.0.254」を入力します。

・標準リース時間

任意で設定します。

・最大リース時間

任意で設定します。初期設定では 7200 秒になっています(7200 秒以上のリース時間要求を受けても、7200 秒がリース時間になります)。

STEP4: DHCP サーバ機能の設定

3 入力が終わりましたら「設定の保存」をクリックして設定完了です。

4 DHCP サーバ機能を有効にするために、「各種サービスの設定」トップに戻り、「**DHCP(Relay)サーバ**」サービスを有効にしてください。

正常に起動すると、ステータスが「動作中」になります。

5 最後に、各コンピューターの IP アドレス設定を自動的におこなう設定にして、再接続してください。各コンピューター IP アドレス設定については、各 OS・LAN ボードの取扱説明書をご覧ください。

XR-300 Yahoo!BB 接続ガイド

2002年12月版

発行 センチュリー・システムズ株式会社

2001,2002 CENTURYSYSTEMS, INC. All rights reserved.
